

追跡レポート

—あの事業は今?—

コミュニティセンターを検証

地区経営主体を立ち上げ、地域づくりの拠点として、地域課題の解決に向けて取り組みを実施し3年が経過した。

【各地区の取り組み状況】

蚕桑地区コミュニティセンター

●蚕桑鍋まつり



文化祭初日に開催。区や外部団体の6つの鍋が出そろう。約300人が参加。

鮎貝地区コミュニティセンター

●鮎貝歴史の散歩道



小学生を対象に実施。28人が参加。鮎貝地内の史跡等を巡り、自分たちの住む地域の歴史を学ぶ。

荒砥地区コミュニティセンター

●炊き出し訓練



3.11に防災フォーラムを開催。合わせて、炊き出し訓練を実施。これからの防災を地域で考える。

十王地区コミュニティセンター

●元気わくわく教室



介護予防のため、楽しく健康づくり。十王地区は28年度からモデル事業として実施。

鷹山地区コミュニティセンター

●文化伝承事業



地区に伝わる獅子舞をコミセンまつりで披露。地域文化が受け継がれていく。

東根地区コミュニティセンター

●ひがしね東陽塾



小学生を対象に年12回ほど開催。クラフト教室、おやつ作りなど。毎回30名ほど参加。



【課題】

- ①各コミセンの事務局員と町担当者との研修と検証
- ②各コミセンにおける、自主財源の確保の推進
- ③町主導の事業と地区ごとの事業の整理の推進
- ④マンパワーの確保

